



東京・学校図書館スタンプラリー 13年間のあゆみ



東京・学校図書館スタンプラリー実行委員会

01 東京・学校図書館スタンプラリーとは

図書館を見ると学校がわかる!?

東京・学校図書館スタンプラリーとは、学校の夏休み期間を利用し、参加している中学・高校の学校図書館を一般に公開するイベントです。それぞれの学校の公開日に学校図書館を見学することができます。通常、学校図書館を見学する機会は多くありません。多くの方が自分や家族の出身校の学校図書館しか知りません。学校図書館はそれぞれの学校の特色に応じ、オーダーメイドで作られており、一つひとつ全く異なります。そんな多様性ある学校図書館のありようを知ってみたいと考えています。



【目的】

- ・学校図書館の魅力を知り、学校図書館活動への理解を深めてもらう
- ・学校図書館を支える学校司書・司書教諭の役割を知ってもらう
- ・進学で学校を選択する小中学生に志望校について知ってもらう



【参加対象】小・中学生とその保護者、高校生、大学生、教職員、教育関係者、学校図書館関係者、図書館関係者、近隣住民、学校図書館に関心を持っている人

02 データで見る 東京・学校図書館スタンプラリー

参加校と参加者の推移

2012年、「東京・高校学校図書館スタンプラリー」が都立と私立の高校13校で開催され、参加者は189名を数えました。2年目には「東京・学校図書館スタンプラリー」と改称。徐々にスタンプラリーが知られるようになり、参加校と参加者数も増えていきました。2018年には念願の国立学校の参加も実現。順調に成長していたスタンプラリーも、新型コロナウイルスにより2020年・2021年は残念ながら開催中止になってしまいました。2022年の試行を経て、2023年によりややく第10回スタンプラリーを再開できました。2024年には国公私立の33校が参加。1421名の参加者がありました。

これまでの累計参加校は270校、参加者数は10184名になります。



東京・学校図書館スタンプラリー HISTORY

平成25年度 東京都子供読書フォーラム参加

「東京・学校図書館スタンプラリー」に改称



阿部智里さん講演会



柚木麻子さん講演会

『学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本300』出版記念イベント開催 (都立多摩図書館)



『もっとある! 学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本220』出版



Library of the Year 2023 ライブラリアンシップ 賞受賞



累計参加者が1万人超え

- 2012 第1回
- 2013 第2回
- 2014 第3回
- 2015 第4回
- 2016 第5回
- 2017 第6回
- 2018 第7回
- 2019 第8回
- 2020 第9回中止
- 2021 オンライン開催
- 2022 オンライン開催
- 2023 第10回
- 2024 第11回

「東京・高校学校図書館スタンプラリー」開催



額賀澤氏講演会



第20回図書館総合展参加



第22回図書館総合展 ONLINE 参加

「日本事務機器賞」受賞



逢坂冬馬さん講演会

03 スタンプラリーから生まれた本 学校図書館の司書が選ぶ本シリーズ 学校司書が子どもたちの読書を応援



スタンプラリーでは参加者へのプレゼントとして、毎年、参加校の司書がおすすめする本を紹介するブックガイド小冊子を制作しています。小冊子には実際に児童生徒に接し、子どもの読書を熟知した学校図書館のプロが選んだ78冊が、選者である司書・司書教諭の紹介文と一緒にまとめられています。これまでに13冊制作されており、どれも児童・生徒をはじめ、その保護者の方、読書教育に興味・関心のある学校関係者、一般の方々からも高い評価をいただいています。

2017年と2020年には、これらの小冊子のうちの8冊を再編集して、ぺりかん社より『学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本300』と『もっとある! 学校図書館の司書が選ぶ小中高生におすすめの本220』が刊行されています。

ぺりかん社 (なるには BOOKS 別巻)
東京・学校図書館スタンプラリー実行委員会編著

学校図書館の司書が選ぶ
小中高生におすすめの本 300
2017年7月刊 1,500円+税



もっとある! 学校図書館の司書が選ぶ
小中高生におすすめの本 220
2020年8月刊 1,600円+税



04 スタンプラリーから生まれた企画 小中高生対象 作家講演会 未来の読者と作家を育てる

東京・学校図書館スタンプラリー開催も第5回を迎えた2016年、新たな試みとして作家を招いた中高生向けの講演会を開催しました。記念すべき第1回めのゲストには額賀澤さんにご登壇いただきました。

現役の作家と中高生が話をする貴重な機会になります。講演会に参加してくれた中高生が文学や読書を身近に感じることで、その後の読書活動や創作活動が豊かになることを願っています。同時にプロの作家の学生時代の読書経験や学校図書館への思いを知ることで、進路についても考えてもらいたいという想いで、このイベントを続けています。

今年度は10月6日に青山美智子さんをお迎えして実施しました。



作家講演会ポスター

年度	お名前
1	2016 額賀澤
2	2017 阿部智里
3	2018 柚木麻子
4	2019 小嶋陽太郎
5	2020 佐藤青南
6	2021 伊吹有喜
7	2022 吉野万理子
8	2023 逢坂冬馬
9	2024 青山美智子



青山美智子さん講演会のような (2024年10月6日)